

奮闘するも痛い惜敗 「優勝」の二文字が遠のく...

駒澤大学 2-3 中央大学

試合終了とともに崩れ落ちる
イレブン (撮影：白瀬忠意)

10月23日 13:50 国立西が丘サッカー場

駒大 2 (0-2) 3 中大
(3位) (2-1) (5位)

得点者 (アシスト)

【駒】52分：酒井(山本)
【駒】79分：金久保(酒井)

【中】14分：佐藤(皆川)
【中】45分：磯部(林)
【中】78分：林(皆川)

KOMAZAWA

GK①岡 大生(4)
DF②酒井隆介(4)
DF③亀井秀将(4)
DF④林堂 真(3)
DF⑤砂川太志(3)
MF⑥金 正也(4)
MF⑦磯井鉄平(1)
(76分)⑧佐光 暎(4)
MF⑨金久保 彩(4)
MF⑩湯澤洋介(2)
(79分)⑪濱田 宙(4)
FW⑫森 佑喜(4)
FW⑬山本大貴(1)
(75分)⑭馬込 司(4)
S U B

GK⑭井指隆範(4)
DF⑮三宅 徹(3)
DF⑯山崎紘吉(3)
FW⑰肝付将臣(3)

MANAGER

秋田浩一

CHUOH

GK①畑 実(4)
DF②畑中亮人(4)
DF③大岩一貴(3)
DF④田港周平(3)
DF⑤田中勇輝(4)
MF⑥永木亮太(4)
MF⑦佐藤謙介(4)
(85分)⑧奥山 慎(2)
MF⑨六平光成(2)
MF⑩磯部 想(3)
(74分)⑪田辺圭佑(1)
FW⑫林 容平(3)
FW⑬皆川佑介(1)
S U B

GK⑭岡西宏祐(2)
DF⑮木下淑晶(2)
DF⑯渡部一平(3)
MF⑰今井智基(2)
MF⑱川越勇治(1)

MANAGER

佐藤 健

【シュート】10:11 【GK】7:14 【CK】6:3 【直接FK】10:21 【間接FK】1:0 【OS】1:0

警告(C)/退場(S)

【中】皆川 佑介(C)

最後まで追い付けず 悔しい惜敗

前節まで、2戦連続完封・3連勝と好調を維持していた駒大だったが、インカレ出場を目指し猛攻を仕掛けてきた中央大学を相手に敗れてしまった。試合後のインタビューで「残念です。としか答えられないですかね。戦えなかったというのが率直の気持ち」と語った秋田浩一監督は、悔しさを露にしていた。

試合は序盤から互いに譲らず、激しい攻守の切り替えが行われていた。8分、この日好調であった酒井が右サイドを突破し、最後は湯澤がシュートを放つも、これはゴール左へ。また10分には、砂川がゴールを狙うなど得点には繋がらなかったが、徐々にリズムを掴みはじめたかのように思われた。しかし14分、粘り強い守備が持ち味の駒大DFだったが、ブロックの隙を突く相手の攻撃に耐えきれず、先制点をとられてしまう。

いきなりの失点に追い付きたい駒大は18分、FKからの折り返しボールを酒井がフリーで受ける。決定的なチャンスだったが、放ったシュートは相手GKのファインセーブに阻まれる。「前半の決定機できめられなかったのが今日は

一番痛い。」と試合後、酒井は振り返った。続く20分にも、今度はこぼれ球を山本が拾い、シュートを放つもポストに嫌われてしまう。その後も、前半だけでシュート数8と、相手ゴールを脅かすが得点が奪えない。1点ビハインドで後半を迎えると思われた前半終了間際、逆に追加点を許してしまった。

後半に入ると、2点差を詰めたい駒大は52分、ロングフィードのこぼれ球を拾った金久保が繋ぎ、左サイドで受けた山本がクロスを送ると、中へ走り込んだ酒井が左足にしっかりと合わせ1点差に詰め寄る。このままペースを握りたいところだったが、落ちつてプレーを続ける相手にボールを回されてしまう。どうしても追加点を得たい駒大は、濱田、佐光、馬込を立て続けに投入し、酒井と主将の金のポジションを1つ前にあげ、追加点を狙う。「自分の役割を果たし得点に結び付けたかった」と、金主将は振り返った。しかし逆に78分、一瞬の隙を突かれカウンターから追加点を許してしまう。負けられない駒大は、その1分後に金久保の得点でまたも1点差に詰め寄るも、そこで試合終了。この結果により、3位と順位を1つ落としてしまった。(佐藤 亮)